

## 6 開設科目概要

### ① 総合教育科目

科目名	単位	概要
<b>短大入門講座</b> (必修) <b>Introductory course            for Junior College            Students</b>	2	科学技術に関する知識や短期大学部での専門教育の魅力、キャリア教育、理工学の社会への貢献等にわたる概説的講義をおこない新入生の学習意欲を啓発する。 短期大学部の沿革/生活・社会の進歩と科学技術/キャリア教育

#### (1) 教養教育部門

科目名	単位	概要
<b>名著講読</b> (選択) <b>Reading of            Masterpiece</b>	2	日本文学の古典から現代までの文学作品を鑑賞する。日本文化と文学作品の関係を考察する。文学作品の面白さを名著講読を通して理解する。 古典文学と近代文学/日本伝統文化の理解/和歌文学・物語文学の歴史/近世文学について/近代文学について
<b>思想史</b> (選択) <b>History of Thought</b>	2	古代から近代までの東西哲学思想を学習し、東西文化の基本にある思想面の比較をするなかで、現代における東西文化の質的相異並びに類似点について認識・理解する。 東西五原素説/東西人倫説/東西二世説/宇宙論/人間関係論/神人関係論
<b>市民生活と法</b> (選択) <b>The Law in the Civic            Life</b>	2	法は近代社会におけるもっとも重要なルールである。本講義では、法の知識を学ぶとともに、日常生活の身近な場面で生じる具体的な事柄を例にとりながら、法が実社会においてどのように機能しているかを考察する。 人間社会とルール/法の意味/法の目的/法の効力/日本の法制度
<b>日本国憲法</b> (選択) <b>The Constitution of            Japan</b>	2	国家の基本法である憲法の原理を学ぶ。単なる制度の枠組みの解説ではなく、制度の沿革を探り、主旨・目的および機能を理解できるように努める。 法と国家/憲法の意味/日本国憲法の成立過程/日本国憲法の特徴/国家主権と国家のあり方/憲法と国際秩序/基本的人権/国会/内閣

科目名	単位	概要
日本近現代史と 国際社会 (選択) Japanese Modern History and International Society	2	本科目は、現代社会と深く関わる近代社会の歩みを客観的に捉えるなかで、日本人としてもつべき近代史の基本的知識の理解と正しい歴史認識の把握をねらいとするものである。前近代と近代社会/近代の功罪/日本近代社会の展開と特色/アジアと欧米世界/国際社会と日本/戦後社会の構造
経済学入門 (選択) Introduction to Economics	2	経済の仕組みと働きを学び、最低限の基礎知識をつける。さらにさまざまな経済現象を統一的に把握し分析するために経済学の理論を学ぶ。具体的にはミクロ経済学とマクロ経済学の初歩を学び、現実の経済を分析する際の基礎とする。 ミクロ経済/マクロ経済
生命の科学 (選択) Life Science	2	ヒトゲノム(全遺伝子)が解読され、生命科学研究はポストゲノム時代に突入したと言われる。本講義では、基礎知識を学ぶと共に、生命科学への理解を深める。 生命の起源/生体構成物質/遺伝情報/遺伝子組換え操作
宇宙の科学 (選択) Astrophysics	2	宇宙の構造と進化について、数学や物理学を用いて考察していく。 単位と物理量/太陽/恒星の性質/恒星の分類と進化/銀河の性質/銀河の性質と分類/宇宙の進化/特殊な天体
スポーツ健康科学 (選択) Health and SportsScience	2	スポーツや健康に関するテーマについて科学的視点から学習する。スポーツや身体活動の關係に係る基礎的知識を獲得し、その理解を深めることで生涯に渡る身体活動の必要性を考える。 健康科学/スポーツ/身体活動
スポーツ I (選択) Sports I	1	体力測定(体力診断テスト)によって自己の体力水準を把握し、スポーツを通じ基礎体力の向上を目指すとともに、そのルールやマナーを身につけ、身体活動の意義を見出す。 基礎体力/スポーツ/身体活動
スポーツ II (選択) Sports II	1	体力測定によって自己の体力水準を把握し、スポーツを通じ体力向上を目指すとともに、生涯スポーツとして身体活動を継続していくための意識を高める。 体力/生涯スポーツ/身体活動

## (2) 言語教育部門

科目名	単位	概要
日本語表現法Ⅰ (選択) Japanese Expressions Ⅰ	1	文章表現において基本となる知識を学ぶとともに、実際に書くことを通じて具体的な表現力を身につけることを目的とする。 現代日本語の表記法/表現文法の問題/文章構成について/書簡文の書き方/レポート・報告文の書き方/話し言葉とマナー
日本語表現法Ⅱ (選択) Japanese Expressions Ⅱ	1	日本語表現法Ⅰの内容を踏まえ、長文を書くことを重点に授業を進めていく。 文献収集/論説文の書き方/文章能力
基礎英語 A (選択) Primary English A	1	既習文法項目の整理・確認と読解力の養成をはかりながら、英語の基礎学力の定着を目的とする。習熟度別クラス編成により、学力に応じた学習を行う。 文法/リーディング/語彙
基礎英語 B (選択) Primary English B	1	作文力・聴解力・コミュニケーション能力の養成をはかりながら、英語の基礎学力の定着を目的とする。習熟度別クラス編成により、学力に応じた学習を行う。 作文力/リスニング/コミュニケーション能力
中級英語 A (選択) Intermediate English A	1	「基礎英語 A」に引き続き、既習文法事項の整理・確認を行いながら、より高度な読解力の養成を目的とする。習熟度別クラス編成により、学力に応じた学習を行う。 文法/リーディング/語彙
中級英語 B (選択) Intermediate English B	1	「基礎英語 B」に引き続き、作文力・聴解力・コミュニケーション能力の定着をはかりながら、より高度な英語力を育成することを目的とする。習熟度別クラス編成により、学力に応じた学習を行う。 作文力/リスニング/コミュニケーション能力
実用英語Ⅰ (選択) Practical English I	1	1年次科目で習得した基礎的な学力をもとに、実用的な英語力の育成を目的とする。それぞれの学習到達度に応じた総合的な学習を行う。学習達成度の指標として TOEIC IP が利用される。 語彙/リスニング/リーディング

科目名	単位	概要
<b>実用英語Ⅱ</b> (選択) <b>Practical English II</b>	1	「実用英語Ⅰ」を引き継いで、より実用的な英語力の育成を目的とする。それぞれの学習到達度に応じた総合的な学習を行う。学習達成度の指標としてTOEIC IPが利用される。 語彙/リスニング/リーディング
<b>英語コミュニケーションⅠ</b> (選択) <b>English Communication I</b>	1	英語系科目で培った英語力をもとに基本的なコミュニケーションスキルを養成することを目的とする。 プレゼンテーション/海外旅行/留学
<b>英語コミュニケーションⅡ</b> (選択) <b>English Communication II</b>	1	英語コミュニケーションⅠを引き継いで実践的なコミュニケーションスキルを養成することを目的とする。 プレゼンテーション/海外旅行/留学
<b>中国語入門Ⅰ</b> (選択) <b>Basic Chinese I</b>	1	初めて中国語を学ぶ学生を対象とし、中国語の発音をマスターした上で、基礎文法や表現法を中心に学習する。 中国文化/歴史/生活習慣/発音/語彙
<b>中国語入門Ⅱ</b> (選択) <b>Basic Chinese II</b>	1	「中国語入門Ⅰ」で学習したことを土台に、引き続き基礎文法を学習した上で、中国語の「聞く」「話す」能力を身に付け、中国語検定試験準4級程度の語学力の習得を目標とする。 発音/文法/読解力
<b>中国語Ⅰ</b> (選択) <b>Intermediate Chinese I</b>	1	「中国語Ⅰ」を履修選択する場合、中国語の基礎を習得していることが望ましい。本科目では、これまで習得した基礎文法や会話内容を復習するとともに、一歩進んだ文法や表現を学習する。 語彙/リスニング/リーディング
<b>中国語Ⅱ</b> (選択) <b>Intermediate Chinese II</b>	1	「中国語Ⅱ」を履修選択する場合、中国語の基礎を習得していることが望ましい。この授業は中国語検定試験準4級合格を目指し、更に4級レベルの基礎文法を学習する。 語彙/リスニング/リーディング

② 専門教育科目

科目名	単位	概要
<b>入門ゼミナール</b> (必修) Introductory Seminar	1	専門教育科目への導入経路として、建築・生活デザインの基礎を学ぶための技術的な読み書き能力を養うことを目的とする。 工学レポートの書き方／数式や単位の取扱い／図書館の活用法／プレゼンテーション技術
<b>基礎ゼミナール</b> (必修) Basic Seminar	1	所属する分野ごとにゼミナール形式で講義・演習を行い、基本的な専門知識や技術を習得するとともに、研究レポートのまとめ方やプレゼンテーション技術を学ぶ。 レポートのまとめ方／ゼミナール別発表審査
<b>発展ゼミナール</b> (必修) Advanced Seminar	1	各担当教員の提示したテーマに関連する建築・生活デザインの専門知識や技術を習得する。密度の高い教育環境のなかで学習を深め、実績報告書を提出する。 建築デザイン系／建築環境系／構造・材料系／生活デザイン系
<b>卒業研究</b> (必修) Graduation Study	2	ゼミナール活動と連携しながら、自ら学習のテーマと目標を設定し、必要となる資料の読解や調査・実験活動などを主体的に実践し総合力を養っていく。 建築設計・デザインの創作／建築空間と音・環境共生／空間構造・耐震技術・構造教育教材の開発
<b>建築・生活デザインの基礎</b> (必修) Introduction to Architectural and Living Design	2	建築の設計・計画に必要な製図法、作画法、造形表現の基礎的な技術の習得を目標とする。 製図用具の使用法／線の練習／透視図・立体図／住宅図面コピー／模型製作
<b>建築デザインスタジオ I</b> (必修) Architectural Design Studio I	2	今日の生活様式や都市環境に目を向け、それらを空間として理解し、そこから創造を試みる作業を通じながら、図面・模型等を用いて生活環境を表現する方法について学ぶ。 最小限空間の構成／生活空間の提案

## (1) 共通基礎教育部門

科目名	単位	概要
情報リテラシ (選択) Information Literacy	1	情報倫理, 著作権など情報社会における基本的な情報リテラシを習得する。また, 建築分野における情報収集・処理方法の基本を学ぶ。 情報倫理・著作権/ネットの社会性/コンピュータ操作法/インターネットの仕組み/電子メール/コンピュータによる情報収集・分析/エクセル
微分積分 I (選択) Basic Calculus I	2	微分積分は, 自然法則や科学技術を学ぶ上で必要不可欠な数学である。ここでは, 1 変数関数の微分積分について, 基礎的な事項を中心に学ぶ。 関数とその極限/連続関数/微分係数と導関数/2次導関数/重要な各種定理/原始関数と不定積分/定積分
微分積分 II (選択) Basic Calculus II	2	微分積分 I で学んだ 1 変数関数の微分積分に関する発展的事項, および多変数関数の微分積分について学ぶ。 高次導関数/数列と級数/テイラー展開/広義積分/多変数関数/偏微分法/重積分
行列と行列式 (選択) Matrix and Determinant	2	コンピュータを利用した技術開発や自然現象の解析の多くにおいて, 行列や行列式, 連立 1 次方程式が重要な役割を果たす。ここではそれらの基本性質, 計算法について学ぶ。 行列の演算/基本変形と掃き出し法/逆行列/行列の階数/行列式とその計算/余因子行列/連立 1 次方程式とその性質
線形代数 (選択) Basic Linear Algebra	2	行列と行列式で学んだ内容を数学的により深く理解するとともに, 固有値問題など理工系で広く応用されている事項について学ぶ。ベクトルの 1 次独立性/内積/基底/線形写像/固有値と固有ベクトル/行列の対角化
数学演習 I (選択) Math Laboratory I	1	微分積分 I の講義内容をより深く理解するため, 初等関数の性質, 1 変数関数の微分積分について, 問題演習を通じて学ぶ。 指数関数/対数関数/三角関数/逆三角関数/関数の極限/導関数/関数の増減/不定積分/定積分

科目名	単位	概要
<b>数学演習 II</b> (選択) <b>Math Laboratory II</b>	1	微分積分 II の講義内容をより深く理解するため、1 変数の微分積分の発展的事項、2 変数関数の微分積分について、問題演習を通じて学ぶ。 高次導関数/数列と級数/テイラー展開/広義積分/多変数関数/偏微分法/重積分
<b>微分方程式</b> (選択) <b>Differential Equation</b>	2	物体の運動、電気、波など自然界の現象は多くが微分方程式で記述されており、微分方程式の知識なしに理工系専門分野を深く学ぶことはできない。ここでは、その基本となる 1 階、2 階微分方程式について学ぶ。微分方程式の定義と基本性質 / 1 階微分方程式 / 2 階微分方程式
<b>数理統計</b> (選択) <b>Statistics</b>	2	予想しがたい自然現象や社会現象などのデータを収集しそれを処理・解析し、確率を用いて予測しようとするのが数理統計である。ここではその基本から応用について学ぶ。 数理統計の概要/度数分布/最小 2 乗法/相関/回帰分析 確率分布/推定/仮説検定
<b>物理 I</b> (選択) <b>Basic Physics I</b>	2	物理学における重要な法則及び概念等の基本的事項について学ぶとともに、自然現象に対する物理的なものの見方や考え方を理解する。 測定/力と運動/仕事とエネルギー/温度と熱
<b>物理 II</b> (選択) <b>Basic Physics II</b>	2	物理 I に続いて、物理学における重要な法則及び概念等の基本的事項について学ぶとともに、自然現象に対する物理的なものの見方や考え方を理解する。 波動/光学/電気と磁気/原子物理/核物理
<b>物理演習</b> (選択) <b>Basic Physics with Laboratory</b>	1	物理 I の講義内容をより深く理解するため、力学を中心とする事項を、問題演習を通じて学ぶ。 速度/加速度/運動の法則/単振動/束縛運動/エネルギーと仕事/慣性力/ 2 物体の相互作用
<b>物理実験 I</b> (選択) <b>Basic Physics Laboratory I</b>	1	基礎的な物理実験を通じて、測定装置の取り扱い、データの分析法、実験レポートの作成法、実験の基礎となる物理理論などについて学ぶ。 重力加速度の測定/ヤング率の測定/等電位線/比熱/表面張力

科目名	単位	概要
<b>物理実験Ⅱ</b> (選択) <b>Basic Physics Laboratory II</b>	1	物理実験Ⅰに引き続き、実験装置の取り扱い、データの分析方法、実験レポートの作成法、実験の基礎となる物理理論などについて学ぶ。 光学的でこの原理を用いる測定実験/電磁誘導に関する基礎実験/パソコンを用いる測定実験

(2) 共通専門教育部門

科目名	単位	概要
<b>建築計画の基礎</b> (選択) <b>Introduction to Architectural Planning</b>	2	建築物を計画・設計するに際して必要とされるさまざまな観点と技法の基礎について学ぶ。 建築概論/風土と建築/空間の形態/人間の知覚と行動/空間の性能/計画の技法と表現/デザイン・設計方法論
<b>建築構法の基礎</b> (選択) <b>Introduction to Structural Systems of Buildings</b>	2	入門科目として建築全般を知ってもらうために、木造建築を中心として建築構法の基礎的な考え方について触れ、加えてその他様々な建築構法の基礎を学ぶ。 構法からの形/素材と構法/躯体の構法(木質構造, 鉄筋コンクリート構造, 鉄骨構造, その他の構造と基礎)/仕上げの構法
<b>建築環境の基礎</b> (選択) <b>Introduction to Building Environments</b>	2	地球環境時代における生活科学・福祉住環境など、環境工学や設備系科目への足がかりとして住居の温熱・空気・水・音・光といった物理環境を平易に講義する。 グリーンアーキテクチャー/暖かい住まい・涼しい住まい/うるさい音を防ぐ/光・色のデザイン/住まいの通風・換気

(3) 分野別専門教育部門

A 建築デザイン分野

科目名	単位	概要
<b>欧米の建築史</b> (選択) <b>History of European Architecture</b>	2	欧米の建築について、各時代の様式的特徴について概観する。各時代の文化、社会背景との関連のなかで建築を理解し、その歴史的発展の諸相について解説する。 ギリシア・ローマ建築/キリスト教建築の発展/古典主義/歴史主義/近代建築/国際様式/機能主義



科目名	単位	概要
<b>現代建築論</b> (選択) Theory of Contemporary Architecture	2	建築家たちが著した建築論を取り上げ、現代の建築デザインを巡る状況について解説する。建築デザインを建築家の思想、社会・時代状況との関連のなかで理解する。 伝統論争／メタボリズム／建築の解体／主題の不在／ポストモダニズム／プログラム／非作家性
<b>日本・アジアの建築史</b> (選択) History of Japanese and Asian Architecture	2	日本およびアジアの建築について、各時代・地域の様式的特徴について概観する。日本建築の歴史的発展の諸相と、アジア諸国の建築・文化遺産について解説する。 神社建築／仏教建築／大仏様／禅宗様／和様／寝殿造／書院造／茶室／中国／朝鮮／カンボジア／ベトナム
<b>建築計画Ⅰ</b> (選択) Architectural Planning I	2	住空間（独立住宅・共同住宅）を計画・設計するために必要となるさまざまな観点と基礎的な技法について学ぶ。 住宅の歴史／住宅の機能と計画／住宅の構造と設備／外部空間の構成と配置計画／今日の住宅問題
<b>建築計画Ⅱ</b> (選択) Architectural Planning II	2	建築は空間の機能によってさまざまな建築類型（ビルディングタイプ）に分類することができる。この分類に従って、各の計画・設計手法について学ぶ。 オフィスビル／学校建築／図書館／博物館・美術館／病院・診療所／劇場・映画館／コミュニティセンター／宿泊施設
<b>ランドスケープデザイン</b> (選択) Landscape Design	2	ランドスケープについての基礎を学ぶことで、建築から地域、地球環境に至るまで、幅広い空間を計画しデザインするための視野を養う。 外構計画／造園設計／屋上・壁面緑化／都市緑化／都市景観／環境共生
<b>建築法規</b> (選択) Building Regulations	2	建築関連法規の基礎、特に建築基準法で「集団規定」と呼ばれる都市内における建築規制の理念と実際を理解する。 市民と建築法規／建築法規の構成／法令の形式／用語の定義／道路規定／用途地域性／建ぺい率と容積率／外壁の後退／絶対高さ／道路斜線／隣地斜線／北側斜線／建築士法／都市計画法

科目名	単位	概要
都市デザイン (選択) Urban Design	2	建築物をはじめ、道路や公園、地域の文化・歴史・自然環境など、その都市を構成する諸要素を総合的に捉える広い視野が求められる都市デザインについて、基礎的な知識を学ぶ。 日欧米の都市計画史／都市計画制度／都市デザイン／都市環境計画／都市防災計画
まちづくりデザイン (選択) Community Design	2	都市の調査法の基本を学び、実在の地域をケーススタディ地区として取り上げ調査分析を行う。実際的な調査に基づき課題等を抽出し、将来への提案を行うことで、まちづくりのための調査手法の基礎を習得する。フィールドワーク／サーベイ／歴史的・文化的価値
建築デザイン スタジオⅡ (選択) Architectural Design Studio II	2	公共的な性格をもつ建築を課題に取り上げ、建築計画的観点からの分析、空間造形、周辺環境との調和、などの点について学習しながら、作品制作を行う。 学生交流センターの設計／図書館の設計
建築デザイン スタジオⅢ (選択) Architectural Design Studio III	2	都市的環境のなかで、また複合的な機能をもつ建築を課題に取り上げ、作品制作を行う。グループ設計、選択課題などの形式により、発表・討論を通じ設計を進める。 美術館の設計／集合住宅の設計

B 建築エンジニアリング分野

科目名	単位	概要
建築数学の基礎演習 (選択) Introduction to Mathematics for Architectural Engineering	1	建築を学ぶ上で不可欠である基礎的な数学の学習と建築に関連した例題の演習を行う。 次元と単位系／三角関数、ベクトルの基本（力の釣合）／指数、対数（デシベル、マグニチュード）／平均変化率、微分、関数のグラフ（変位、速度、加速度、断面力図）／定積分、不定積分
建築力学Ⅰ (選択) Structural Engineering I	2	構造物に作用する荷重・外力の種類、支点の種類を理解すると共に、静定構造物に生じる応力の算定方法に関して学ぶ。 力の概念/力の合成と分解/力の釣合い / 構造物の支持方法・反力/ 片持ち梁・単純梁・ラーメン構造 / 示力図と連力図 / 曲げモーメント・せん断力・軸方向力

科目名	単位	概要
<b>建築力学Ⅱ</b> (選択) <b>Structural Engineering II</b>	2	静定ラーメン及び静定トラスの応力及び変形の計算方法を学ぶ。 トラス構造/節点法と切断法 /静定骨組の変形 /仮想仕事式/基本撓角 /剛度と剛比/ 節点系仮想仕事式 /固定端モーメント
<b>建築力学演習</b> (選択) <b>Exercises in Structural Engineering</b>	1	建築力学Ⅰおよび建築材料力学Ⅰの各項目と関連した演習問題を自ら解くことによって、構造に関わる力学の基本的な内容を習得する。 力の合力/静定骨組みの支持/静定骨組みの部材力/図解法/M, N, Q図/変形とひずみ/モールの応力円/断面の性質/縁応力度
<b>建築材料力学Ⅰ</b> (選択) <b>Strength of Architectural Materials I</b>	2	構造設計の基となる構造部材の力の釣合や変形などの基礎的な力学上の諸問題を、材料や断面の諸性質と関連して学ぶ。 力の釣合/外力と内力/応力とひずみ/材料の力学的性質/支持点の反力/断面の性質/軸方向力/曲げモーメントとせん断力/せん断応力
<b>建築材料力学Ⅱ</b> (選択) <b>Strength of Architectural Materials II</b>	2	建築材料力学Ⅰで学んだ知識を基にして、部材のたわみや仕事に関する諸定理など、より複雑な力学的諸問題について学ぶ。 たわみ曲線/変形の仕事(ひずみエネルギー)/仕事に関する諸定理/不静定構造物/ねじり/座屈
<b>情報処理</b> (選択) <b>Information Processing</b>	1	表計算ソフトのエクセルを利用したVBAプログラミングを中心とした演習を通じ、建築分野でコンピュータがどのように利用されるのかを理解し、情報処理・データ解析の基礎を身につける。表計算ソフトによるデータ集計/グラフ作成/統計処理/VBAの基本文法/VBAプログラミング演習/VBAによる工学計算の実際
<b>建築情報処理</b> (選択) <b>Applied Information Processing</b>	1	3DレンダリングソフトPOV-RAYを使用し、CGプログラミングによる建築立体表現の基礎を修得する。 3DソフトウェアPOV-RAYの基本/座標系, 視点/基本立体/移動・回転/光源設定/立体の論理演算/テキストチャーター/アニメーション作成/CG作品のプレゼンテーション

科目名	単位	概要
<b>建築材料 I</b> (選択) Building Materials I	2	建築物の骨組を構成する構造材料について、材料の種類、物理・化学的性質、力学的性質、耐久性などについて学習する。 総論／木材／セメント／コンクリート／鉄鋼
<b>建築材料 II</b> (選択) Building Materials II	2	建築物の空間を創る仕上材料（非構造材料）は、その素材が多種にわたっており、その種類、性質、用途及び使用方法が大きく異なる。これらの内、主要な材料について学習する。 木質系／金属系／粘土／せっこう／ガラス／セメント／ALC／コンクリート／左官／仕上塗材／塗料／接着剤／畳／繊維／防水材料／防・耐火材料／断熱材
<b>建築基礎実験 I</b> (選択) Basic Experiments on Building Engineering I	1	実験を通して、建物の安全性について考えてもらうと同時に、建築学における構造分野の基礎的知識の習得を目的としている。 構造強度実験／振動台体験・振動実験／風洞実験／構造部材
<b>建築基礎実験 II</b> (選択) Basic Experiments on Building Engineering II	1	建築に関連の深い基礎的な物理および化学に関する実験を実施する。 固有周期／密度／慣性モーメント／ヤング率／海砂中の含有塩分／建築材料の水和反応／化学的酸素要求量
<b>建築生産実験</b> (選択) Building Material Experiments for Construction	1	建築物の主要構造材料である鋼材、コンクリート、木材について強度実験を実施する。また、測量及びスウェーデン式サウンディング試験について触れる。 調合設計／品質管理／圧縮試験／引張試験、曲げ試験／荷重とたわみ
<b>建築環境実験</b> (選択) Experiments on Architectural Environments	1	建築環境に関して、実験を通じて理論と実際との関係を学ぶとともに測定機器の扱い方やレポートの書き方を習得する。実験は、光・色実験、音環境実験の2項目である。 実験内容の講義／実験準備／光・色実験（加法混色、減法混色、測色）／音環境実験（騒音測定）／レポート作成
<b>建築各種構法</b> (選択) Structural Systems of Buildings	2	鉄鋼造、鉄筋コンクリート造、木構造を対象に、構造原理と構法及び設計の考え方について学ぶ。 鉄鋼造／鉄筋コンクリート造／木構造／基礎構造／設計法／耐震設計／耐震改修

科目名	単位	概要
<b>建築施工法</b> (選択) <b>Building Construction Methods</b>	2	<p>様々な構法および工事について、建築施工の基礎的知識及び最新の情報を講義するとともに施工現場の映像を交えて理解を深める。</p> <p>総論/ISO9000s 品質マネジメントシステム/請負契約・請負制度/施工計画/仮設工事/土工事/地業・基礎工事/鉄筋・型枠工事/コンクリート工事/鉄骨工事/改修工事</p>
<b>建築気候</b> (選択) <b>Climates for Buildings</b>	2	<p>建築環境をとりまく要素のうち、主として「温熱」「空気」に関する事項を学習する。建築の質的向上に資するため、快適な住居空間を創造するための方策を学ぶ。</p> <p>都市気候/温熱指標と快適環境/空気の汚染とシックハウス/換気計算/熱の伝わり方/湿気と結露/住まいの断熱設計</p>
<b>建築音環境</b> (選択) <b>Architectural Acoustics</b>	2	<p>音環境の面から建築空間の質を向上させるための方法を取り扱う。さまざまな用途の空間に適した音環境デザインの基本を身に付けることが目的である。</p> <p>音の物理・心理/デシベル尺度/騒音の影響と評価/室内音響計画/吸音と吸音構造/遮音と遮音構造/固体伝搬音の遮断/床衝撃音と床構造</p>
<b>建築地域環境</b> (選択) <b>Architecture and Regional Environments</b>	2	<p>建築を地球環境・地域環境と共生し、持続可能な空間として存在させるのに必要な基本知識、考え方を学ぶ。</p> <p>地球環境建築の基本的理念/地球環境問題、温暖化問題/地球、地域におけるエネルギー・物質の循環/世界および日本の自然、風土、地域の環境特性/環境共生型建築/エコロジカルデザインの概念/環境建築デザイン手法</p>
<b>建築設備</b> (選択) <b>Introduction to Building Services</b>	2	<p>トータルシステムとしての建築における建築設備の位置づけとともに、建築計画と設備計画の関連とその重要性を説き、次いで、空気調和設備や給排水衛生設備などの初歩的な諸技術について学ぶ。</p> <p>システムとしての建築設備/建築計画の中の設備計画/配管系基礎理論/伝熱学基礎/空気調和負荷/室内機流分布/湿り空気線図</p>

C 生活デザイン分野

科目名	単位	概要
<b>建築人間工学</b> (選択) <b>Human Engineering in Buildings</b>	2	物やシステムの使いやすさや安全性について考え、人間と機械や什器、周辺環境との関係について理解し、人間の特性にあった設備や生活環境の設計に役立つ知識と技法を修得する。 人体のサイズと空間／作業の人間工学／視覚と照明／聴覚と騒音・振動／加齢と人間の機能の変化／標示のデザイン
<b>福祉住環境計画</b> (選択) <b>Housing and Welfare Plans</b>	2	福祉住環境のあり方やその実現に向けた方策を、建築計画やリハビリテーション医療の観点から学び、様々な疾病、機能・能力障害、ADLの方と生活空間との対応関係について理解する。 高齢者や障害者の機能障害／ADLと生活環境との対応／住環境整備の基本技術について／祉用具に関する性能と活用方法
<b>建築ユニバーサル デザイン</b> (選択) <b>Universal Design in Architecture</b>	2	高齢者や障害者が、住宅などの建築物において、安全で快適に過ごすことができる住環境の設計方法について学ぶ。 車いす、杖使用者と移動の基礎／段差解消と手すり／玄関、アプローチの設計／便所・浴室・洗面などの水まわり／居室の設計／キッチンとダイニングの設計／介護保険と住宅改修
<b>色彩計画</b> (選択) <b>Color Coordination</b>	2	視覚伝達・衣服・製品・環境など生活全般に大きな影響を及ぼす色彩について科学的に分析し、生活に役立てられるよう理解を深める。色彩関連検定にも対応。 光／知覚／感情／混色／表色系／測色／色名／配色／調和論／流行色／色彩計画／カラーマネージメント
<b>インテリア計画 I</b> (選択) <b>Interior Design I</b>	2	ファブリックなどの素材、照明・家具などインテリアの構成要素、インテリアデザインの基本的デザインプロセスについて学ぶことで、ヒューマンスケールでのデザイン手法を習得する。 素材／質感／構成要素／スケール感覚／機能

科目名	単位	概要
インテリア計画Ⅱ (選択) Interior Design II	2	空間の独自のイメージを付加するインテリアデザイン。その系譜と潮流、素材と技法、家具・照明デザインの手法、あるいはデザインの思想に至るまで、内部空間のデザインプロセスを総合的に学ぶ。 物販店／飲食店／アプローチ／照明計画／家具計画
ものづくりワークショップ (選択) Design Workshop	1	ワークショップ形式の授業形態を取り、材料加工など実践的な技術・知識を得ながら、デザインから制作までのプロセスを体験的に学習する。 版築／土のベンチ／竹のドーム／竹のベンチ／素材とデザイン／グループ制作
造形デザイン演習 (選択) Exercises on Formative Design	1	これからデザインを学習する上で、身につけておくべき基本的な技術を学習する。基本形態を観察し平面上に描写する力、紙を使って立体表現する力を履修する。 鉛筆スケッチ／基本形態の描写／パースペクティブの表現／立体造形／紙の立体化
メディアデザイン演習 (選択) Exercises on Computer-Aided Design	1	デジタルツールの基本的な操作方法を習得し、デザインの検討段階への応用を図る。また、デジタルネットワークを介したコラボレーション技術を習得する。 デジタルツール／デザイン検討技術／設計プロセスへの応用／コラボレーション／プレゼンテーション
プロダクトデザイン (選択) Product Design	2	日々の生活で使用する道具・製品を取り上げ、各種材料とその性質、加工法、生産システムについて解説する。また、関連するデザイン領域についての理解を深める。 立体構成と表現／モデリング／素材と材質／生活雑貨／家具・照明器具／インテリア／コミュニケーション
美術・デザイン史 (選択) History of Art and Design	2	近現代美術・デザインの理解のために西洋美術史を古代から近代まで概観する。特に平面作品、彫刻を中心として理解を深める。 ヘレニズム／ゴシック／ルネサンス／バロック／印象主義／アール・ヌーヴォー／表現主義／バウハウス

## (4) キャリア・職業教育部門

科目名	単位	概要
キャリアデザイン (選択) Career Design	2	本講では、大学入学後に各自が人生のビジョンを考え、生涯の仕事を含む人生そのものをこれからどのように生きていくかを考えることを主題とする。本講を通して自己理解を深め、自分のキャリアデザインの重要性を理解して目的意識を持つことで、本学における勉学への高いモチベーションを持てるようにすることが望ましい。 人生のビジョン/自己理解/目的意識/勉学への高いモチベーション
建築キャリア デザインⅠ (選択) Career Design for Architects I	1	建築、土木及び生活デザインに関連の深い学科の専門家による概説をとおして、社会で活躍しているそれぞれの分野の技術者像について学ぶ。 建築家/構造/設備/土木技術史/インテリアコーディネーター/造形デザイン
建築キャリア デザインⅡ (選択) Career Design for Architects II	1	社会が建築士に求める職能は多岐に広がり始めている。様々な分野で活躍する建築士の取り組みや事例を紹介しながら、建築技能を活かしたキャリア・デザイン(職業設計)を考える。 建築士/職能/法務対応/税務対応/不動産価値評価/ファイナンシャル
技術者倫理 (選択) Engineering Ethics	2	技術者が直面する様々な事例の複雑な背景と構造の検討を通じて、技術者がどのような視線にさらされ、様々な制約の中でいかなるコミュニケーションデザインかを求められているかを解明する。 倫理綱領にみる多様な倫理観/組織行動とマニュアル化の功罪/トランスサイエンス時代のネットワークカーとしての作法
ものづくり インターンシップ (選択) Internship	1	建築・生活デザインに関わる企業での実習を通じて、設計、施工、開発、デザイン等のさまざまな分野における実践的な技術を学ぶとともに、社会的適応能力やコミュニケーション能力等を育む。 就業体験/体験報告書/体験発表



③ 補充教育科目

科目名	単位	概要
<b>理数基礎演習 A</b> (選択) Introductory Math and Physics with Laboratory A	1	高校で学んだ数学と理工系大学に必要な数学との橋渡しをする科目である。特に、基本的な数学の計算力と初等関数に関する知識を、問題演習を通じて確実なものとする。 式の計算・方程式と不等式・関数とグラフなどの基本事項の確認／指数関数・対数関数・三角関数・逆三角関数など初等関数の性質／数列と極限・級数
<b>理数基礎演習 B</b> (選択) Introductory Math and Physics with Laboratory B	1	高校の物理と理工系大学で学ぶ物理の橋渡しをする科目である。特に基本的な物理の考え方を学び、物理で使う数学について問題演習を通じて確実なものとする。 物理とは/単位/ベクトル/座標/微分積分/速度・加速度/ニュートンの3法則/放物運動
<b>理数基礎演習 C</b> (選択) Introductory Math and Physics with Laboratory C	1	1年次に学ぶ数学・物理学の事項について、クラスごとにテーマを定め、知識を、問題演習を通じて確実なものとする。 微分積分 I, II に関するまとめと演習／行列と行列式、線形代数に関するまとめと演習／物理学 I, II に関するまとめと演習
<b>理数総合演習 A</b> (選択) Advanced Math and Science with Laboratory A	1	理工系専門科目を学ぶ上で基礎となる数学のうち、微分積分、線形代数、微分方程式に関する発展的事項を、問題演習を通じて総合的に習得することを目指す。 1変数関数の微分積分／偏微分／重積分／微分方程式／線形代数／固有値問題
<b>理数総合演習 B</b> (選択) Advanced Math and Science with Laboratory B	1	理工系専門科目を学ぶ上で基礎となる物理・化学のうち、物理学、特に力学に関する発展的事項を、問題演習を通じて総合的に習得することを目指す。 質点の力学／質点系・剛体の力学／振動と波動
<b>理数総合演習 C</b> (選択) Advanced Math and Science with Laboratory C	1	理工系専門科目を学ぶ上で基礎となる物理・化学のうち、理数総合演習 B で扱う以外の発展的事項を、問題演習を通じて総合的に習得することを目指す。 電磁気学／熱力学／化学

科目名	単位	概要
<p style="text-align: center;"><b>総合演習</b> (選択) Advanced Laboratory for Math and Science</p>	1	<p>理工系専門科目を学ぶ上で基礎となる数学・物理・化学に関する発展的事項について、問題演習を通じて総合的なまとめと復習を行う。 大学で学ぶ数学の要点／大学で学ぶ物理学の要点／大学で学ぶ化学の要点</p>